INST.No.MGM-AL1

CHINO

MGシリーズ
壁取付形酸素濃度計
（警報動作可変仕様）

取扱説明書

INSTRUCTIONS

本取扱説明書は、必ず本計器の近くに
大切に保管して下さい。

この説明書は、最終的に本計器をお使いになる方のお手もとに確実に届けられるよう、お取り計らい下さい。

目　　次

１．はじめに …… 1

１－１　対象機種 …… 1
１－２　設定項目 …… 1
１－３　設定内容とその動作 …… 2

２．設定操作 …… 3

２－１　操作キー …… 3
２－２　設定操作（確認及び変更） …… 3
表１　操作フロー図

３．トラブルシューティング・・・不良と判断する前に …… 4

１．はじめに

この度はＭＧシリーズ壁取付吸引形酸素計をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書はＭＧシリーズにおいて、お客様の希望する警報動作を任意の状態で設定変更するための操作部専用取扱説明書となっておりますので、設置・結線・運転等の取扱は本体に付属されている取扱説明書をよくお読みいただいたうえでご使用下さい。

１－１　対象機種

本取扱説明書により警報動作が変更できる対象機種は下記の形式の機種のみとなっておりますので、お客様のご使用機種の形式をよくご確認下さい。

名　　称	形　　式
１）壁取付吸引形酸素計　　ＭＧ１０００シリーズ	ＭＧ１□□□－A□□
２）壁取付形酸素センサ　　ＭＧ２１００シリーズ	ＭＧ２１□□－A□□
３）１点計測モニター　　ＭＧ３０１０シリーズ	ＭＧ３０１□－A□

注：A部の形式番号が「A」以外の時は、酸欠計や酸素濃度計における指定状態による固定動作機種のため、お客様では変更できません。

１－２　設定項目

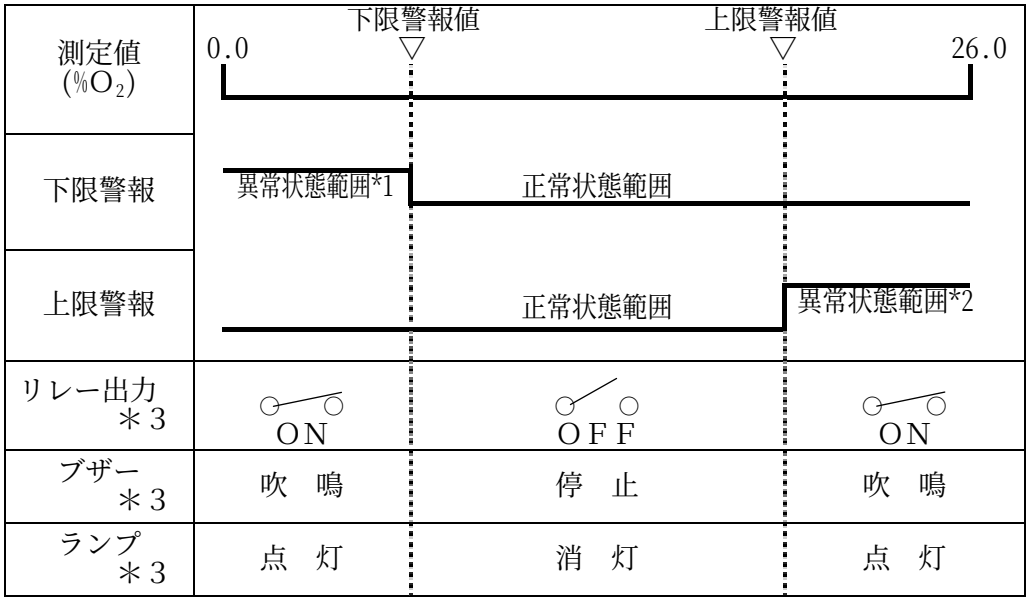
本取扱説明書にて設定変更可能な機能は、下記項目となっております。

項　　目		設定内容(可変範囲)	工場出荷時の状態
1	下限警報値設定	０．０～２６．０（%O_2）	１８．０（%O_2）
2	上限警報値設定	０．０～２６．０（%O_2）	２６．０（%O_2）
3	下限警報動作	有／無	有
4	上限警報動作	有／無	有
5	警報時リレー出力	有／無	有
6	警報時ブザー吹鳴	有／無	有
7	警報時ランプ点灯	有／無	有
8	警報動作出力保持機能	有／無	有

注：警報値設定は必ず「下限警報値＜上限警報値」になるように設定してください。

１－３　設定内容とその動作

１）上・下限警報動作と警報値の関係

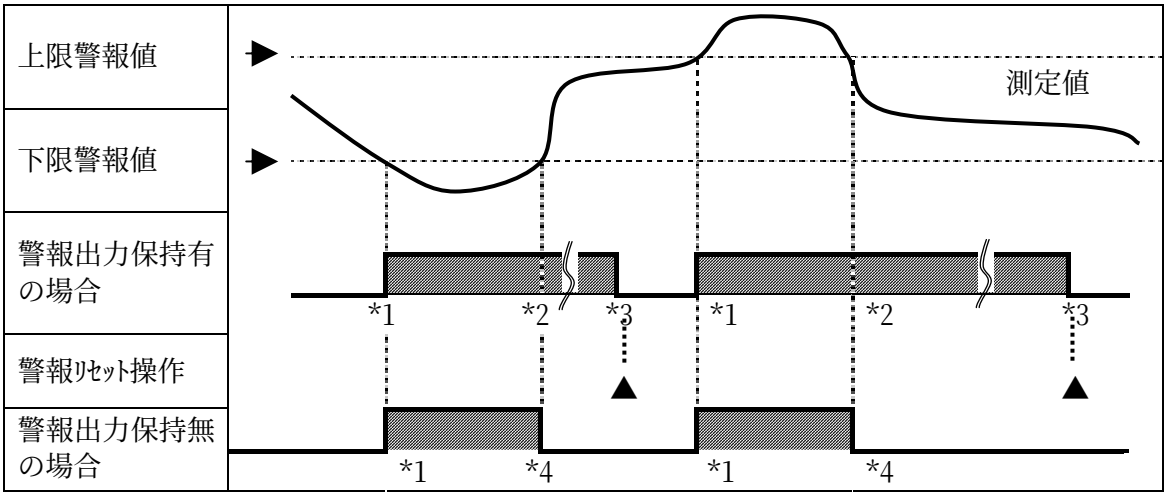


＊１　下限警報動作無の場合は、測定値が下限警報値より下がっても異常状態とはならず、警報動作はしません。

＊２　上限警報動作無の場合は、測定値が上限警報値より上昇しても異常状態とはならず、警報動作はしません。

＊３　警報動作無の場合は、リレー出力はＯＦＦ，ブザーは停止，ランプは消灯の状態が続きます。

２）警報動作出力保持動作の関係　　[▨ 部は警報発生を示す]



＊１　測定値が異常状態になったため、警報動作がＯＮになります。

＊２　測定値が正常状態に戻りましたが警報動作は保持されています。

＊３　保持された警報動作はリセット操作されるまで保持します。

＊４　警報出力が保持無の場合は測定値が正常状態になった時点で解除されます。

２．設定操作

２－１　操作キー

本計器の警報動作を設定変更する操作キーは本体内部にあります。本体扉部を開きますと、扉部裏側下部に操作用キーが配置されています。

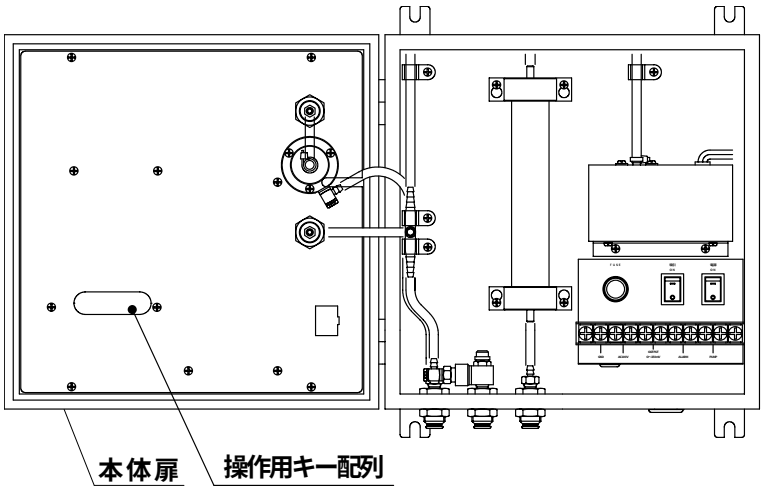


図１　本体内部配置図

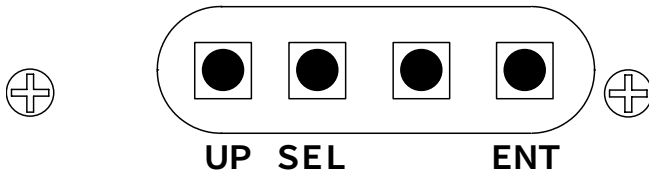


図２　操作キー配列図

操作用キーはカバー表面より内側に入り込んでいますので操作する場合は小型マイナスドライバーの先やシャープペンシルの金具部等の先で押し込んで操作して下さい。

キー操作はカッターの先や針など、鋭く尖った部分で操作しないで下さい。
スイッチ不良の原因となります。

２－２　設定操作（確認及び変更）

設定パラメータは全て一連の操作の流れの中で確認や変更が行われ、その全体の流れを表１操作フロー図に示しますのでそれに従って操作をし、設定内容の確認や変更を行って下さい。

３．トラブルシューティング・・・不良と判断する前に

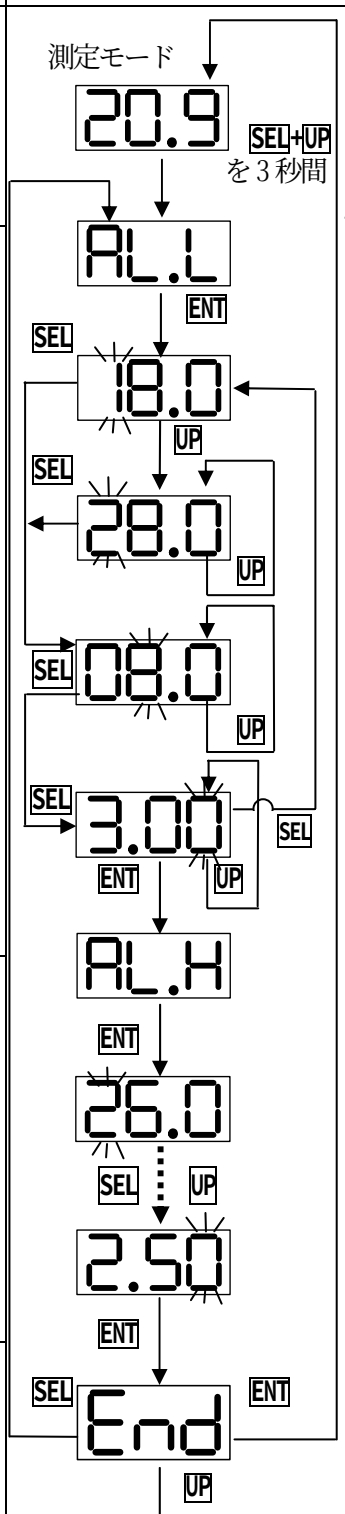
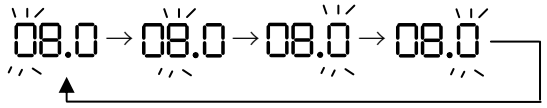
警報動作の設定変更操作において、動作がおかしいと感じましたら下記に従ってチェックすることをお勧めします。

No.	現　　象	チェック内容	処　　置
1	設定変更モードに移行できない 「AL.L 」の表示に移行しない	SEL キーと UP キーを 同時に押していない	どちらか１方のキーを離す 前にもう一方のキーを押す
		SEL キーと UP キーを３秒 以上押していない	３秒以上押す
		設定変更対応機種ではない	形式と仕様を確認してください
2	下限警報値が設定できない 「AL.H 」の表示に移行しない	上限警報値より大きな値に 設定しようとしている	上限値より小さな値で設定してください
			上限値を大きな値に設定した後で再設定してください
		少数第２位の桁設定がされていない	小数第２位の桁表示になるまで SEL キーを押した後に ENT キーを押してください
3	上限警報値が設定できない 「End」表示に移行しない	下限警報値より小さな値に 設定しようとしている	下限値より大きな値で設定してください
			下限値を小さな値に設定した後で再設定してください
		少数第２位の桁設定がされていない	小数第２位の桁表示になるまで SEL キーを押した後に ENT キーを押してください
4	ブザーやランプ、リレー出力が出たまま	下限警報値や上限警報値が 間違って設定されている	設定値を確認してください
5	ブザーやランプ、リレー出力が出ない	下限警報値や上限警報値が 間違って設定されている	設定値を確認してください
		それぞれの出力が出ない設定になっている	設定値を確認してください

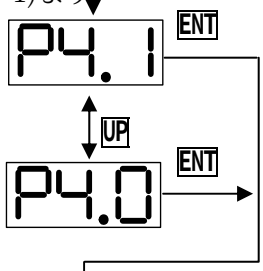
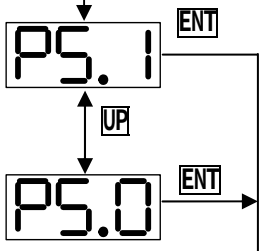
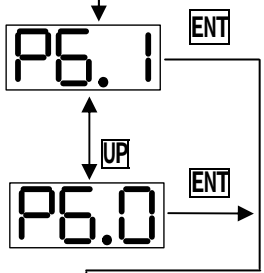
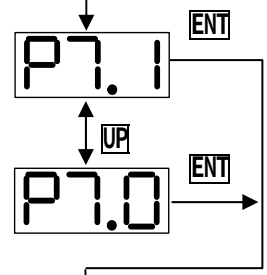
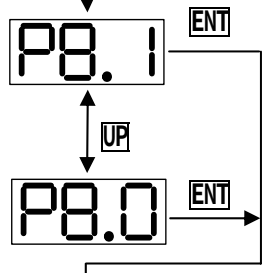
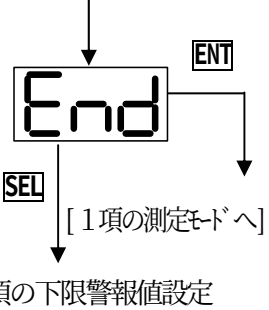
以上のチェックをしても正常動作にならない場合は、販売元または当社最寄りの営業所・支店にご連絡下さい。

お客様がカバーを外したり、改造するようなことは絶対にしないで下さい。
故障や動作不良の原因になります。

表１　操作フロー図

No.	モード	操作フロー及び表示	備　　考
1	通常運転モード		◎測定した酸素濃度表示を行い、設定されている警報設定値に応じた警報動作を行います
2	下限警報値設定変更モード （工場出荷時18.0%）		◎警報関係の設定変更を行うためのスタート画面で下限警報値の設定変更から始まります ⚠ 一度このモードに入ったら４項または5-7)項まで操作をし、その後必ずENTキーを押して通常運転モードへ戻して下さい ◎変更前の設定値を表示しています （１０の桁が点滅） ◎UPキーを押す毎に数値が加算されます （1→2→3……9→0→1…） ◎SELキーを押す毎に数値変更可能桁が移動します  ◎小数第１位桁点滅状態でSELキーを押しますと表示が左に１桁分シフトし、小数第２桁が点滅表示されて設定変更可能となります 注）下限警報値は上限警報より小さな値で設定して下さい
3	上限警報値設定変更モード （工場出荷時26.0%）		◎小数第２位桁点滅状態の時のみENTキーにより上限警報設定変更モードに移行できます ◎２項の下限警報設定変更モードと同じ要領でSELキーで桁選択，UPキーで数値変更を行います 注）上限警報値は下限警報値より大きな値で設定して下さい。
4	警報値設定変更モード終了表示		◎小数第２位桁点滅状態の時のみENTキーにより警報設定変更モードが終了できます ◎SELキーで警報値の再設定モードに移行できます ◎ENTキーで設定変更モードを抜け、通常運転モードに戻ります
5 5-1)	警報出力動作設定変更モード 下限警報動作設定 （工場出荷時　有）		◎UPキーを押す毎にP3.1とP3.0が切り換わります ◎P3.1の時、下限警報動作有となります ◎P3.0の時、下限動作は無くなります ⚠ P3.0の時は、２項の設定値より測定値が下がっても警報動作は働きません

＊5-2)へ

No.	モード	操作フロー及び表示	備　　考
5-2)	上限警報動作設定 （工場出荷時　有）	＊5-1)より↓  	◎UPキーを押す毎にP4.1とP4.0が切り換わります ◎P4.1の時、上限警報動作有となります ◎P4.0の時、上限警報動作は無くなります P4.0の時、3項の設定値より測定値が上昇しても警報動作は働きません
5-3)	リレー出力動作設定 （工場出荷時　有）	 	◎UPキーを押す毎にP5.1とP5.0が切り換わります ◎P5.1の時、リレー出力有となります ◎P5.0の時、リレー出力無となります P5.0の時、警報発生状態になってもリレー導通信号は出力されません 但し、停電発生時は出力されます
5-4)	ブザーの吹鳴動作設定 （工場出荷時　有）	 	◎UPキーを押す毎にP6.1とP6.0が切り換わります ◎P6.1の時、ブザー吹鳴動作有となります ◎P6.0の時、ブザー吹鳴動作は無くなります P6.0の時は警報発生状態になっても本体内蔵のブザーは鳴りません
5-5)	ランプ点灯動作設定 （工場出荷時　有）	 	◎UPキーを押す毎にP7.1とP7.0が切り換わります ◎P7.1の時、ランプ点灯動作有となります ◎P7.0の時、ランプ点灯動作は無くなります P7.0の時は警報発生状態になっても本体内蔵のランプは点灯されません
5-6)	警報動作出力保持設定 （工場出荷時　保持）	 	◎UPキーを押す毎にP8.1とP8.0が切り換わります ◎P8.1の時、警報動作出力保持となります ◎P8.0の時、警報動作出力は保持されません ・P8.0の時は測定値が正常状態（警報発生無の状態）に戻ると自動的に解除されます ・P8.1の時は測定値が正常状態に戻っても本体のリセットキーが押されるまではその出力を保持します
5-7)	警報出力動作設定変更モード終了表示	 [2項の下限警報値設定変更ﾓｰﾄﾞへ]	◎P8のパラメータ設定画面表示の時のみENTキーで警報出力動作設定変更モードが終了できます ◎SELキーで警報値の再設定モードに移行できます ◎ENTキーで設定変更モードを抜け通常運転モードに戻ります

＜お問い合わせ先＞ 株式会社チノー

本　　社	東京都板橋区熊野町32-8	TEL 03-3956-2111
	民生機器営業部	TEL 03-3956-2131
東 京 支 店	東京都板橋区熊野町32-8	TEL 03-3956-2205
北 部 支 店	埼玉県さいたま市大宮区宮町2-81（日本生命大宮アネックス）	TEL 048-643-4641
大 阪 支 店	大阪府吹田市江坂町1-23-101（大同生命江坂ビル）	TEL 06-6385-7031
名古屋支店	名古屋市中村区那古野1-47-1（名古屋国際センタービル）	TEL 052-581-7595

技術お問い合わせ先

株式会社 山形チノー
〒994－0002 山形県天童市大字乱川1515
TEL 023-654-9713 FAX 023-652-0171